

1 件名

西脇市庁舎ネットワーク更新に係る情報提供依頼

2 目的

本市では、現在運用している庁舎ネットワーク機器について、機器の老朽化、保守期限、クラウドサービス利用拡大、運用負荷の増大、セキュリティ対策の高度化等を踏まえ、次期ネットワーク環境への更新を検討している。

本 RFIは、次期庁舎ネットワークの構成方針、技術的選択肢、導入・移行方法、運用保守体制、概算費用、調達範囲、スケジュール等に関する情報を広く収集し、今後の方針決定、予算要求、仕様書作成及び調達方式検討の参考とすることを目的として実施するものである。

3 本市の概要

項目	内容
自治体名	西脇市
所在地	兵庫県西脇市下戸田 128 番地の 1
人口	約 37,000 人
職員数	約 300 人
出先機関数	15 拠点／19 施設（別紙参照）
庁内端末数 （パソコン、タブレット、複合機等を含む台数）	インターネット系 約 100 台 LGWAN 系 約 650 台 マイナンバー利用事務系（基幹系） 約 200 台
無線 LAN アクセスポイント数	54 台
主な業務端末	Windows パソコン等

なお、出先機関の施設名と住所は別紙に示す。

4 現環境の概要

(1) 現行ネットワーク環境

区分	現行概要	
本庁舎内ネットワーク	L3 スイッチ	基幹系 2 台 LGWAN・インターネット系 2 台 (どちらも正副冗長)
	L2 スイッチ	ラック用スイッチ 8 台 ディストリビューションスイッチ 8 台 (4 階分 正副冗長) フロア盤用スイッチ 15 台 エッジスイッチ 32 台
	無線 LAN アクセスポイント	54 台
	議会用ルータ (独自ネットワーク)	1 台
	議会用スイッチ (独自ネットワーク)	1 台
	議会用 AP (独自ネットワーク)	6 台
	DHCP サーバ	2 台 (LGWAN・インターネット系用 正副冗長)
	RADIUS サーバ	4 台 (基幹系 2 台、 LGWAN 系 2 台 どちらも正副冗長)

区分	現行概要	
出先施設ネットワーク	拠点間接続回線サービス	フレッツ光 ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 集
		フレッツ VPN ワイド プラン 10 3 グループ
	VPN ルータ	14 台
	L2 スイッチ	14 台

ネットワークモデルは α モデル

(2) 現行環境の課題

現時点で認識している課題はのと次のとおりである。ただし、これらに限定するものではなく、事業者の専門的知見に基づき、潜在的課題の指摘及び課題の再定義を含めた提案を求める。

ア 機器の老朽化、保守期限到来、サポート終了への対応が必要である。

イ ネットワーク全体の可視化、トラフィック把握、障害検知、構成管理が十分でない。

ウ 多拠点環境における現地対応、機器管理、障害切分けの負荷が高い。

エ 庁内にネットワーク・セキュリティ専門人材が限られており、遠隔から一元管理できる運用しやすい構成が必要である。

オ クラウドサービス、Web会議、生成AI、ノーコード・ローコードツール等の利用増加により、通信量、認証、セキュリティ対策の見直しが必要である。

カ クラウドサービス利用に伴い内部トラフィックの増加が想定されるため、将来の増強を見据えた機器・線材（配線／光回線等）のスペック選定が必要である。

キ α モデル、 α' モデル、 β モデル、 β' モデル、ゼロトラスト等を含め、将来のネットワークモデルへの移行を見据えた設計が必要である。

ク ランサムウェア対策、バックアップ、BCP、災害時業務継続の強化が必要である。

ケ 出先拠点でのPC利用増加に伴い、フレッツ VPN ワイド環境で画面転送のカクつき・タイムアウトが発生し得るため、費用対効果を踏まえた回線／方式の見直しの検討が必要である。

5 情報提供依頼事項

「4 現環境の概要」の内容を踏まえ、具体的に次の内容について情報提供を依頼する。

(1) ネットワーク機器更新について

現状のネットワーク機器からの更新に係る情報を提示すること。
具体的には、次の内容を含むこと。

ア 更新後のネットワーク機器構成、機器仕様

イ 更新スケジュール

ウ 更新に係る費用

エ 更新に係る留意事項

なお、機器更新は西脇市役所本庁舎と出先機関を含む。

(2) 拠点間接続回線の提案について

ネットワーク機器更新に合わせて、出先機関との接続回線の見直しを検討している。最適な接続回線を提示すること。

(3) 情報セキュリティについて

ネットワーク、サーバ、クライアント機器を脅威から保護するソリューションを提示すること。特に、昨今のAI技術の向上による脅威にも対応出来るソリューションを示すこと。

(4) 運用保守について

ネットワーク機器更新後の運用保守について、対応時間や対応内容と、それに伴う費用について示すこと。

(5) 将来的なネットワークモデルの切替えについて

機器更新イメージは、まず α モデルを前提にネットワーク機器更新を行い、将来的に α' モデルへの移行を検討している。 α' モデル移行時に、機器の追加調達や作業が極力少なくなるような構成を提示すること。

6 提出を求める資料

(1) 提出資料

事業者は、可能な範囲で次の資料を提出すること。

様式は全て任意様式とする。

No.	提出資料	内容
1	提出者情報	会社名、担当部署、担当者、所在地、電話番号、メールアドレス、担当支店・営業所等
2	会社概要	会社概要、事業内容、体制、資格・認証等

No.	提出資料	内容
3	提案書	本 RFI の情報提供依頼事項に対する構成案、方針、実現方法、課題、留意点
4	製品・サービス説明資料	提案する製品、サービス、ライセンス、機器、クラウドサービス等の説明
5	導入実績	自治体、公共団体、同規模民間企業等での実績、規模、構成、導入時期、効果等
6	概算見積	初期費用、運用保守費、ライセンス費、回線費、5年間の運用費用総額
7	想定スケジュール	調達、設計、構築、試験、移行、稼働までの想定期間
8	前提条件・制約事項	見積前提、必要情報、利用条件、対象外範囲、リスク等
9	その他有益な情報	あれば

(2) 費用提示に関する留意事項

- ア 初期導入経費と運用・保守経費を分けること。
- イ 少なくとも5年間のトータルコストを提示すること。可能であれば10年間の運用費用総額も提示すること。
- ウ リース、レンタル、一括購入、サブスクリプション等の契約形態を明記すること。
- エ ライセンス単価、ユーザ数、端末数、拠点数、同時接続数等の積算前提を明記すること。
- オ 保守年数、メーカーサポート期限、EOL/EOS、更新時期を明記すること。
- カ 概算見積であり、今後の仕様確定、現地調査、数量確定、為替、メーカー価格改定等により変動し得る場合は、その旨を明記すること。

(3) 提案内容に関する留意事項

- ア 本 RFIの趣旨を踏まえた具体的提案とすること。
- イ 単なるカタログのみの提出は不可とする。ただし、提案内容を補足するためのカタログ添付は可とする。
- ウ 本市が認識していない課題、仕様書に含めるべき事項、調達上のリスクがあれば積極的に記載すること。

7 参加方法・詳細資料の提供

- (1) 本 RFIへの参加を希望する事業者は、次の事項を記載し、「13 提出・問合せ先」宛てに電子メールで連絡すること。

ア メール件名：【西脇市庁舎ネットワーク更新 RFI参加希望】

イ 会社名

ウ 担当部署名

エ 担当者氏名

オ 電話番号

カ メールアドレス

キ 参加を希望する旨

※ イ～キはメール本文に記載すること。

- (2) 秘密保持契約

現行ネットワーク構成図、機種情報、または配線状況の確認を行う場合、秘密保持契約締結後に提供する。

- (3) 詳細資料の取扱い

本市から提供する詳細資料は、本 RFIへの回答作成目的にのみ使用すること。本市の許可なく複製、転載、第三者提供、公開、転用してはならない。

8 質疑応答

- (1) 質問方法

本 RFIに関する質問がある場合は、次のとおり質問書を提出すること。

項目	内容
提出様式	任意様式
提出方法	電子メール
件名	【質問書送付】西脇市庁舎ネットワーク更新 RFI（貴社名）
提出期限	令和8年9月4日 午後5時まで
提出先	j-suisin@city.nishiwaki.lg.jp

- (2) 回答方法

質問に対する回答は、次の方法により行う。

ア RFI本文、参加条件、提出方法等に関する一般的な質問は、必要に応じて本市ホームページ又は参加事業者全体へ回答を共

有する。

イ 現行ネットワーク構成等の機微情報に関する質問は、秘密保持誓約書提出済み又は参加表明済み事業者に限定して回答を共有する場合がある。

ウ 個別事業者のノウハウ、製品仕様、価格情報等に関わる質問については、回答内容又は共有範囲を調整する場合がある。

エ 電話による質問は原則受付けない。ただし、本市が必要と認める場合はこの限りでない。

9 提出方法

(1) 提出期限

令和8年10月14日 午後5時

(2) 提出方法

項目	内容
提出方法	電子メールに添付すること
提出先アドレス	j-suisin@city.nishiwaki.lg.jp
メールの件名	【提案書送付】西脇市庁舎ネットワーク更新 RFI（貴社名）
ファイル形式	PDF、または Microsoft Office 形式
説明会・デモ	提出資料に関する説明又はデモを依頼する場合がある

10 想定スケジュール

本 RFIの実施以降のスケジュールは次のとおり予定している。

時期	段階
令和8年8月24日	本依頼書公開
令和8年9月4日	質問書提出期限 期限後の質問は回答しない場合がある
令和8年9月9日	質問回答 HP掲載又は参加事業者へ共有
令和8年10月14日	提案書等提出期限
令和8年10月頃	ヒアリング・デモ (必要に応じて実施)
令和8年11月頃	方針決定・予算要求
令和9年度	契約締結・設計構築開始(予定)
令和10年度5月	新ネットワーク機器稼働(予定)

11 情報・資料等の取扱い

- (1) 本 RFIは、技術、費用、構成、運用、調達範囲等に関する情報を得るための手段として実施するものであり、今後の調達実施又は契約を約束するものではない。
- (2) 本 RFIへの回答の有無及び回答内容により、今後の調達における有利又は不利な取扱いは発生しない。
- (3) 本 RFIに要する一切の費用は、情報提供者の負担とする。
- (4) 提出された資料、提案書、見積書、記録媒体等は返却しない。
- (5) 提供された情報及び資料等は、本事業検討の目的にのみ使用する。ただし、今後の調達仕様書、要求水準書、予算資料等を作成する際の参考とする場合がある。
- (6) 提供された情報及び資料等について、提供者に断りなく第三者へ提供又は公開しない。ただし、法令、条例、情報公開制度、監査対応、又は本市と秘密保持契約を締結した外部支援事業者への開示が必要な場合はこの限りでない。
- (7) 本市は、提出資料の内容について、後日、追加質問、ヒアリング、デモンストレーション、追加資料提供を依頼する場合がある。
- (8) 本市から提供する資料は、本 RFIの目的以外に使用してはならない。
- (9) 本 RFIで提供された情報について、営業上の秘密、ノウハウ、非公開情報等が含まれる場合は、その旨を明示すること。

12 留意事項

- (1) 本 RFIの内容は、現時点の検討事項であり、今後変更する場合がある。
- (2) 本 RFIに記載する課題及び要件は、現時点で本市が認識している事項であり、これに限定しない。
- (3) 事業者は、専門的知見に基づき、より効果的又は低コストな代替案がある場合は、その理由、根拠、実績、費用対効果を含めて提案すること。
- (4) 本 RFIの回答にあたり必要な前提条件、制約、追加情報がある場合は明記すること。
- (5) 提案製品については、想定利用期間中にメーカーサポートが有効であるものを基本とすること。
- (6) 調達時には、本 RFIで提示された仕様、構成、費用、契約形態をそのまま採用しない場合がある。
- (7) 今後、追加 RFI、PoC、ヒアリング、RFP、一般競争入札、公

募型プロポーザル等を実施する場合がある。

13 提出・問合せ先

項目	内容
住所	〒677-8511 兵庫県西脇市下戸田 128 番地の 1
担当部署	総務部 情報推進課
担当者	松本
電話番号	0795-22-3111(代)
メールアドレス	j-suisin@city.nishiwaki.lg.jp
問合せ受付時間	午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで